



緑小だより

板橋区立緑小学校
2月号 (No.578)
令和8年1月30日

将来の夢

校長 市之瀬 輝明

1月13日（金）の出前授業では、スピーチライターの墓田吉昭さんにお越しいただきました。

4年生に向けて、「自分の未来を考えよう」というメッセージを届けにいらしてくださったのです。

授業の中で墓田さんは、サッカーの本田圭佑らが小学生だった頃に、将来の夢について書いた作文を紹介してくださいました。

墓田さんから、「具体的な夢をもち、それに向かって行動に移すことが大切である。」と教えていただき、縦3マス横3マスの表がかかっているプリント（マンダラート）が配られました。野球の大谷翔平選手も使っていたという「目標達成シート」の簡易版で、中央のマス目に自分の夢を、周りにはそのためにどのような行動をとるかを記入していくものです。墓田さんは、真剣に考えながらマス目を埋めていく子供たちの机の間を回り、一人ずつ「いいね、すごいな。」と声を掛けてくださいました。誰かに発表してもらいましょうという場面では、「ここにいる全員が、夢や目標について真剣に考えてくれました。これから発表してくれる人にも、応援の気持ちを込めて大きな拍手を送りましょう。」と、前置きをしてくださいました。子供たちは墓田さんのおっしゃる通り、発表者皆に笑顔で温かい拍手を送っていました。子供たちがお互いに茶化し合ったり否定し合ったりせず、自信をもって夢を語ったりもち続けたりするための配慮であり、このことから、子供たちは認め合うことの大切さを感じ取ってくれたはずです。その後、1分間 ほめたら「ありがとうございます」と言って交代するルールのもとで、となりの人と組んでお互いにほめあい活動を行いました。

最後に、「①いろいろなことに好奇心をもとう。いろいろなことを記憶しよう②どんな技術や才能を、誰のために役立てるかを考えよう。③夢を行動に移してやってみよう。」とエールをいただき、授業は終わりました。教室を出ていく墓田さん呼び止め、たくさんの子供たちが自分の夢を伝えたり、お礼を伝えたりしていました。控室へ戻る廊下で、「こんなに一生懸命に考えてくれて、反応してくれて、子供たちの純粋さに涙が出そうになりました。」と、おっしゃってくださいました。将来の大きな可能性を秘めたこの「金の卵たち」と、これからも教職員皆で日々真剣に向き合い、成長の手助けをしていきたいと、気持ちを新たにいたしました。

ご家庭でも、「将来の夢」を話題にしてみてもいいのではないでしょうか。

委員会活動は、5.6年生と3.4年生の代表委員会の児童の活動です。

2月の行事予定

[illegible]

生活指導部から

防犯ブザーの点検をお願いします

日頃からお子さんの登校・下校へのご協力をありがとうございます。保護者の皆様にご協力いただき、お子さんたちも安全に登下校することができています。

さて、お子さんが登下校の際に事件・事故から身を守ることの一つに防犯ブザーの携帯が挙げられます。本校でも入学時には防犯ブザーを配布し、携帯することになっています。ランドセルに取り付けて日数が経過すると、電池切れや故障でうまく作動しないことも多々あります。間もなく年度末を迎えますので、防犯ブザーが正しく作動するか、確認をお願いします。また、成長に合わせて、鳴らしやすい位置に取り付けられているかも確かめてください。

使わないで済むことが一番ですが、お子さんの安全のため、万が一のために、防犯ブザーの点検をお願いします。
(生活指導部)

学年の窓 1年生 書き初め

硬筆での書き初め。1年生になって、ひらがな・カタカナ・漢字と学習を進めてきました。お手本をよく見て、正しく文字を書こうという気持ちが、背筋がピンと伸びている姿から伝わってきました。

国語の学習で練習をするときはもちろん、席書会では教室の中が静まりかえります。子どもたちのお手本を動かす音、鉛筆の音、書き終わったときの安堵のため息などが、小さく聞こえるだけです。気持ちのよい緊張感がありました。

廊下に作品が掲示されると、熱心に友だちの作品も見っていました。友達のよいところを見つけて「上手だね。」などと伝えている子どもたちもあり、自然に、互いに認め合い高め合っていて素敵でした。また、上級生の作品も見て、大いに刺激を受けている様子も見られました。

とめ・はね・はらいなどの細かいところにも気を配り、文字の中心を意識して書くという経験は、自分の文字を見直すよい機会になったと思います。これから文字を書くときに、学んだことを生かして行って欲しいです。



校内書き初め展

3学期が始まってすぐに席書会を行いました。1, 2年生は、硬筆なので、

各教室で姿勢を正し、お手本をよく見ながら書き初めをしました。3年生以上は、毛筆なので、学年でまとまって体育館で書き初めを行いました。書き初め用の長い半紙に、バランスを考えながら、一文字一文字、ていねいに書きました。それぞれの文字から、子どもたちの気持ち新たにがんばろうという気持ちが伝わってきました。

作品は、1月16日～23日まで、書初め展を実施し、各教室の掲示板に展示しました。



道徳授業地区公開講座 1月16日(金)

板橋区では、学校、家庭及び地域社会が連携して子どもたちの豊かな心を育むとともに、小・中学校等における道徳教育の充実を図ることを目的として、道徳授業地区公開講座を実施しています。本校では、1月の学校公開で、道徳授業地区公開講座と「特別の教科 道徳」の授業を公開しました。本校が取り上げたテーマは「人との関わりに関すること」です。多くの方にご来校いただき、ありがとうございました。

6時間目の道徳地区公開講座では、コミュニティ・スクール委員の方々、保護者の方々、本校教職員合わせて多数の方々が参加しました。葛田吉昭様にご来校いただき、「こどもは言葉でできている～こどもの成長を促す言葉、阻む言葉～」というテーマでご講演いただきました。今どきのこどもの3つの特徴やこどもを育む5つの言葉など、子どもたちを育てる上でヒントになるお話をしていただきました。

質疑応答では、保護者の方々から多数の質問がありました。子どもとの向き合い方を真剣に考えたいという思いが溢れる大変有意義な時間となりました。